

能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略

数値目標・重要業績評価指標(KPI)の達成状況

能代市 企画部 総合政策課

令和元年10月

目 次

基本目標 1 地域における安定したしごとの創出

- (1) 地域産業の活性化の推進 1
 - (ア) 新エネルギー等関連産業の創出
 - (a) 関連産業の創出と育成
 - (b) 水素エネルギーの研究
 - (イ) 企業誘致及び企業活動への支援等
 - (a) 企業誘致の推進
 - (b) 能代港の利活用促進
 - (ウ) 商工業の振興
 - (a) 既存企業の維持拡大
 - (b) まちのにぎわいの創出
 - (c) 起業等の促進
 - (d) 人材の確保・就職支援
 - (エ) 農業の振興
 - (a) 野菜ランド能代の推進
 - (b) 水田農業の再構築
 - (c) 農産物の高付加価値化と流通販売の促進
 - (d) 担い手育成と新規就農者の促進
 - (オ) 林業、木材産業の振興
 - (a) 木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業の確立
 - (b) 林業生産の効率化
 - (c) 地場産材の消費拡大
- (2) 地域資源の活用を中心とした交流人口の拡大 7
 - (ア) 市内外へ魅力のPR
 - (イ) 地域資源の磨き上げと掘り起こし及びその利活用
 - (ウ) 交流が広がるイベントや行事への支援

基本目標 2 少子化対策

- (1) 脱少子化に向けた市民意識の醸成 9
 - (ア) 結婚、出産、子育てに関する意識の醸成
- (2) 結婚・妊娠・出産・子育ての総合的な支援の充実・強化 10
 - (ア) 出会いの機会の提供
 - (イ) 安心して出産・子育てできる環境の充実
 - (a) 不妊治療等に対する支援の推進
 - (b) 子どもを生み育てるサポート体制の充実
 - (ウ) 子育て世帯の経済的負担の軽減
 - (エ) 子育てと仕事の両立支援
 - (a) 安心して預けられる保育環境の整備
 - (b) 企業等による子育て支援の促進
 - (オ) 子育てを地域で支援する仕組みづくり
- (3) 次代を担う子どもの成長支援 12
 - (ア) きめ細かな教育の推進
 - (a) ふるさと教育の推進
 - (b) 多様なニーズに対応した教育の推進

基本目標 3 移住・定住対策

(1) 首都圏等からの移住の促進	14
(ア) 地域の情報発信と受け入れ体制の整備	
(a) 移住情報の発信と収集	
(b) 移住者の受け入れ体制整備	
(イ) 多様なニーズに対応した移住促進	
(ウ) 本市出身者のUターンの促進	
(2) 若者の定住の促進	15
(ア) 高校卒業者等の定住及び大学卒業者等のUターンの促進	
(3) 地元への愛着をはぐくむ	15
(ア) 子どもたちによるふるさとの発見	
(イ) シティセールスによる市の魅力再発見	
(ウ) 特色あるまちづくり	

基本目標 4 新たな地域社会の形成

(1) 広域的な視点での地域社会の形成	17
(ア) 能代山本地域の連携	
(2) 地域社会の維持・活性化	17
(ア) 地域コミュニティの維持	
(a) 自治会等への支援	
(b) 地域づくりの促進	
(イ) 防災への対応強化	
(ウ) 地域公共交通の維持・確保	
(エ) 若者、女性、高齢者の活躍支援	
(a) 若者の活躍支援	
(b) 女性が活躍できる環境づくり	
(c) 健康で元気な高齢者の活躍促進	
(3) 安全・安心な暮らしを守る環境づくり	21
(ア) 既存インフラのマネジメント強化	

数値目標・重要業績評価指標(KPI)達成状況集計表

基本目標		27年度	28年度		29年度		30年度	
				前年比		前年比		前年比
1 地域における安定したしごとの創出	順調	19	19	0	20	1	18	▲2
	横ばい	6	6	0	5	▲1	6	1
	不調	5	4	▲1	4	0	2	▲2
	その他	0	1	1	1	0	4	3
2 少子化対策	順調	9	8	▲1	8	0	9	1
	横ばい	4	8	4	9	1	2	▲7
	不調	1	0	▲1	0	0	5	5
	その他	2	0	▲2	0	0	1	1
3 移住・定住対策	順調	9	6	▲3	6	0	8	2
	横ばい	2	5	3	5	0	3	▲2
	不調	1	1	0	1	0	1	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
4 新たな地域社会の形成	順調	7	9	2	10	1	9	▲1
	横ばい	9	5	▲4	5	0	4	▲1
	不調	0	3	3	2	▲1	4	2
	その他	1	0	▲1	0	0	0	0
合計	順調	44	42	▲2	44	2	44	0
	横ばい	21	24	3	24	0	15	▲9
	不調	7	8	1	7	▲1	12	5
	その他	3	1	▲2	1	0	5	4
	計	75	75	0	76	1	76	0
重複している指標	順調	4	3	▲1	2	▲1	3	1
	横ばい	0	2	2	3	1	1	▲2
	不調	0	0	0	0	0	1	1
	その他	1	0	▲1	0	0	0	0
	計	5	5	0	5	0	5	0
実数	順調	40	39	▲1	42	3	41	▲1
	横ばい	21	22	1	21	▲1	14	▲7
	不調	7	8	1	7	▲1	11	4
	その他	2	1	▲1	1	0	5	4
	計	70	70	0	71	1	71	0

※27年度の「その他」は、28年度から集計を開始したため「未確定」とした項目。
 28～30年度の「その他」は、基礎データの変更により基準値との比較ができなくなり、「評価不能」とした項目。

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

数値目標 (1)市の施策に関する雇用創出数 (5カ年累計)								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	-	35	69	103	126		87	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							雇用奨励措置の対象となった新設・増設企業数が平成30年度までに8社あり、28人の新規雇用があったほか、創業者が33人、新規就農者が65人であったことから、市の施策に関する雇用創出数は計126人となった。	順調 (^-^)

- (1)地域産業の活性化の推進
- (ア)新エネルギー等関連産業の創出
- (a)関連産業の創出と育成

KPI (2)再生可能エネルギー自給率								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	7.0	7.2	8.1	13.3	13.7		19.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							平成29年途中に運転した大型太陽光発電所(1カ所)が、1年を通じて運転したことによる微増にとどまった。	横ばい (-_-)

KPI (3)風力発電による導入量								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	19,580	23,560	62,660	62,660	62,660		117,000	kW
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							能代港における港湾区域内の洋上風力発電事業の商業運転開始による増加を見込んでいたが、同事業は国内で最も先行する事例のため、想定外の課題解決が必要となり、現状では令和4年度の稼働予定となった。	横ばい (-_-)

- (b)水素エネルギーの研究

KPI (4)戦略期間内での研究会等の設置								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	-	-	1	1	1		1	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							平成28年度に水素エネルギーに関する研究のため能代市次世代エネルギー研究会に水素エネルギー研究部会を設けた。	順調 (^-^)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

(イ) 企業誘致及び企業活動への支援等

(a) 企業誘致の推進

KPI	(5) 新設、増設企業数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	—	2	4	8	8		5	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							平成30年度は、企業の新設・増設ともになかった。	順調 (^-^)

(b) 能代港の利活用促進

KPI	(6) 能代港の取扱い貨物量(能代火力発電所専用棧橋を除く)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	397,621	353,655	307,162	342,566			571,000	トン
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
								※未確定

(ウ) 商工業の振興

(a) 既存企業の維持拡大

KPI	(7) 中小企業融資あっせん制度利用件数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	—	221	459	686	943		1,000	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							融資利率の引き下げ等により利用件数は順調に推移している。	順調 (^-^)

(b) まちのにぎわいの創出

KPI	(8) 歩行者、自転車通行量							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	3,936	3,967	3,579	3,594	3,497		5,218	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							金融機関や高校の統合による移転等の結果、通行量は減少傾向にある。	横ばい (-_-)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

KPI	(9) 空き店舗の利活用件数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	—	3	8	15	17		10	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							新規創業者向けの各種支援制度との連携により、利活用件数が増加した。	順調 (^-^)

(c) 起業等の促進

KPI	(5) 新設、増設企業数 (5カ年累計) (再掲)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	—	2	4	8	8		5	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							平成30年度は、企業の新設・増設ともになかった。	順調 (^-^)

KPI	(10) 創業者数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	—	8	20	28	33		30	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							企業等相談窓口や創業塾の利用等により、創業への不安が小さくなり、実際に創業するケースが増加したと考えられる。	順調 (^-^)

(d) 人材の確保・就職支援

KPI	(11) 新規学校卒業者就職率(能代山本)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	41.5	36.9	39.4	44.1	44.4		50.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							平成29年度から30年度の推移を見ると、県内の新規高卒者就職内定率が減少する中、管内の就職率は増加している。デュアルシステム・企業PR事業などにより地元就職の意識が高まったと考えられる。	順調 (^-^)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

(エ) 農業の振興

(a) 野菜ランド能代の推進

KPI	(12) 戦略作物5品目の生産出荷額							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	1,110	1,426	1,665	1,758	1,831		1,500	百万円
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>天候等により変動があるが、ネギを中心に出荷数量が増加し、単価も堅調に推移したことから、5品目合計の出荷額は増加した。また、農産物の消費拡大のため、トップセールスやイベントでのPR活動等により有利販売に努めている。</p>								順調 (^-^)

(b) 水田農業の再構築

KPI	(13) 30a以上区画のほ場整備率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	60.6	61.3	62.1	64.5	66.5		64.2	%
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>ほ場整備事業(区画整理)が順調に進められている。</p>								順調 (^-^)

KPI	(14) 一等米比率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	93.0	96.9	93.6	94.8	95.2		93.0	%
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>登熟期以降の低温・日照不足により収量は前年より低かったものの、カメムシ類の効果的防除により斑点米が減少し、比率が微増した。</p>								順調 (^-^)

KPI	(15) 食味値							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	71.1	75.0	75.0	75.9	74.5		77.0	
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>農家の適正な肥培管理がなされているが、8月下旬以降の天候不順により、小粒となり、食味値が低下したものと考えられる。</p>								順調 (^-^)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

(c) 農産物の高付加価値化と流通販売の促進

KPI	(16) 地産地消協力店数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	41	41	46	56	58		60	店
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							市ホームページでのPRのほか、地産地消協力店マップの配布により、周知が図られ、順調に新規店舗が増加している。	順調 (^~^)

KPI	(17) 農産物直売所の売上げ							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	219,390	238,555	249,506	250,779	411,959		356,467	千円
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							道の駅ふたつ及び新規直売所の開業による店舗数増加のほか、各直売所ごとの工夫により、売り上げが増加した。	順調 (^~^)

(d) 担い手育成と新規就農者の促進

KPI	(18) 担い手農地集積率(個人・集団を含む)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
25年度	54.9	56.1	57.7	58.3	61.9		64.9	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							新設法人と、新規就農者の増加に伴い、集積面積が増えたことにより集積率も増加した。	順調 (^~^)

KPI	(19) 農業経営法人数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年	18	20	21	24	28		25	法人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							轟、小掛・鬼神、荷上場など6地区でほ場整備が実施され、それに伴い法人が新設された。	順調 (^~^)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

KPI	(20)新規就農者数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	—	18	36	56	65		38	人
							推移の分析・考えられる要因 国の「農の雇用事業」の活用や、「次世代人材投資事業」の活用等により、新規就農者数が増えたと考えられる。	達成状況 順調 (^-^)

(オ) 林業、木材産業の振興

(a) 木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業の確立

KPI	(21)木材製品出荷額							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
25年度	14,013	13,976	9,001	8,645			15,000	百万円
							推移の分析・考えられる要因 ※未確定	達成状況 ※未確定

(b) 林業生産の効率化

KPI	(22)林内道路密度(5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
25年度	19.2	19.7	20.1	20.5			20.0	m/ha
							推移の分析・考えられる要因 ※未確定	達成状況 ※未確定

KPI	(23)皆伐後の植栽面積(5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	—	18.1	37.9	41.7	41.7		100.0	ha
							推移の分析・考えられる要因 森林所有者の高齢化や、木材価格の下落により、伐採しても再造林するだけの収益が見込めないため、植栽面積は増えなかったものと考えられる。	達成状況 横ばい (-_-)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

KPI	(24)秋田林業大学校本市出身研修生（5カ年累計）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	—	—	1	2	2		5	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							毎年1名超の入校を目指して市内各高校等に補助制度をPRしているが、平成30年度の入校はなかった。	横ばい (-)

(c)地場産材の消費拡大

KPI	(25)木のまちづくり推進事業利用件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	29	53	40	30	27		60	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							平成27年度は消費増税の駆け込み需要の影響から前年を大幅に上回ったが、以降は新規住宅着工件数の低迷と共に減少している。	不調 (>_<)

(2)地域資源の活用を中心とした交流人口の拡大

(ア)市内外へ魅力のPR

KPI	(26)能代市の観光・物産・宿泊・交通情報に関するホームページへのアクセス数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	10,273	8,956	6,035	6,921	10,388		30,000	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							アクセス数が増加した要因は、スマートフォンの普及等により、ネット媒体の検索が増えたことによるものと考えられる。目標値を下回った要因は、観光関係の情報発信元充実により、アクセス先が分散したためと考えられる。	横ばい (-)

(イ)地域資源の磨き上げと掘り起こし及びその利活用

KPI	(27)豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	41.5	40.8	40.6	41.8	37.5		60.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							白神山地の眺望、風の松原、米代川、きみまち阪などの豊かな自然は、市民にとって日常の中に溶け込んでおり、観光資源という意識が希薄していると考えられる。ハタハタ、きりたんぼ・だまご鍋などの郷土料理も同様に、特別意識されていないと考えられる。	不調 (>_<)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

KPI	(28)滞在人口率の県内順位(休日)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年	15	17					11	位
			推移の分析・考えられる要因				達成状況	
			地域経済分析システム(リーサス)のデータを引用していたが、他のデータに置き変わったため、「評価不能」としている。				評価不能	

(ウ)交流が広がるイベントや行事への支援

KPI	(29)観光客入込客数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	1,741,141	1,656,159	1,564,437	1,497,605	1,755,727		1,800,000	人
			推移の分析・考えられる要因				達成状況	
			平成30年8月に移転した道の駅ふたついの入り込み客数が好調であったため。				順調 (^-^)	

基本目標2 少子化対策

数値目標 (30)合計特殊出生率								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
25年度	1.24	1.31	1.33	1.41			1.55	—
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
								※未確定

数値目標 (31)婚姻数								
基準年	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
25年	163	164	175	158	128		200	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
秋田県全体では年々減少傾向にある中、本市も減少に転じている。女性の転出増や未婚率の上昇、晩婚化などが影響しているものと考えられる。								不調 (>_<)

(1)脱少子化に向けた市民意識の醸成
(ア)結婚、出産、子育てに関する意識の醸成

KPI (32)子どもを生子、育てやすいと感じる市民の割合								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	—	—	27.1	27.4	24.5		60.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
子育て支援については、廃止した事業もなく継続して事業を実施しているが、まだ十分浸透しきれていないものと考えられる。								不調 (>_<)

KPI (33)家庭教育支援事業等への中・高校生の参加割合(中学生) (5力年累計)								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	—	2.9	22.9	42.9	80.0		100.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
各校の取組が定着してきている。 27年度→1校1学年 28年度→5校7学年 29年度→5校7学年 30年度→5校13学年								順調 (^~^)

基本目標2 少子化対策

KPI	(33)家庭教育支援事業等への中・高校生の参加割合(高校生)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	4.6	3.8	5.6	7.7	7.0		15.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							事業活動日と生徒との日程が合わず、参加者がいない事業もあったため昨年度より参加生徒数が減少した。	横ばい (-)

(2)結婚・妊娠・出産・子育ての総合的な支援の充実・強化

(ア)出会いの機会の提供

KPI	(34)あきた結婚支援センター入会者数(5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	119	142	169	205	232		194	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							平成30年度入会者27人中25人が入会登録料助成を受けており、制度が定着してきている。	順調 (^)

(イ)安心して出産・子育てできる環境の充実

(a)不妊治療等に対する支援の推進

KPI	(35)不妊治療費助成制度利用件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	44	67	57	62	68		53	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							不妊治療の理解・周知が進んだことのほか、平成30年度から不育症治療費の助成も追加したことにより、件数が増えたものと考えられる。	順調 (^)

(b)子どもを生み育てるサポート体制の充実

KPI	(36)子育て支援センター利用者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	7,565	9,012	9,313	10,146	10,057		7,900	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							子育て支援センターの行事をホームページ、広報等で知り、母親たちの出会いの場にもなっている。繰り返し利用する方も多く見られる。	順調 (^)

基本目標2 少子化対策

KPI	(37)妊婦一般健康診査受診率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	86.8	87.9	100.0	89.3	88.5		100.0	%
							推移の分析・考えられる要因 転出・流産等に伴う減少であり、実質的な健診未受診者は0人である。	達成状況 横ばい (-_-) 順調 (^-^) 達成状況

KPI	(32)子どもを生み、育てやすいと感じる市民の割合（再掲）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	-	-	27.1	27.4	24.5		60.0	%
							推移の分析・考えられる要因 子育て支援については、廃止した事業もなく継続して事業を実施しているが、まだ十分浸透しきれていないものと考えられる。	達成状況 不調 (>_<) 達成状況

(ウ)子育て世帯の経済的負担の軽減

KPI	(38)子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	25.3	26.0	26.6	26.2	20.7		35.0	%
							推移の分析・考えられる要因 保育所、子育て支援センターなどが実施している子育て支援事業や「めんchoco事業」等により地域で支えあう雰囲気が徐々に浸透してきていると思われるが、数値は伸びていない。	達成状況 不調 (>_<) 達成状況

(エ)子育てと仕事の両立支援

(a)安心して預けられる保育環境の整備

KPI	(39)病児・病後児保育事業実施施設数(保育所等)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	4	4	4	3	3		6	施設
							推移の分析・考えられる要因 事業実施に必要な看護師の確保が難しく、実施施設は増えていない。	達成状況 横ばい (-_-) 達成状況

基本目標2 少子化対策

KPI	(40)放課後児童クラブ(留守家庭児童会)のクラス数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	11	9	11	11	14		15	クラス
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							向能代小学区2クラス、ニツ井小学区1クラスを新設した。	順調 (^-^)

(b)企業等による子育て支援の促進

KPI	(41)次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	24	24	24	29	34		26	社
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							策定義務のある従業員101人以上の企業の策定率は100%となっている。努力義務となっている100人以下の企業における策定が進んでいると考えられる。	順調 (^-^)

(オ)子育てを地域で支援する仕組みづくり

KPI	(38)子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合 (再掲)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	25.3	26.0	26.6	26.2	20.7		35.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							保育所、子育て支援センターなどが実施している子育て支援事業や「めんchoco事業」等により地域で支えあう雰囲気が徐々に浸透していきていると思われるが、数値は伸びていない。	不調 (>_<)

(3)次代を担う子どもの成長支援

(ア)きめ細かな教育の推進

(a)ふるさと教育の推進

KPI	(42)地域の行事に参加している児童・生徒の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	61.0	65.1	69.3	62.3	65.8		70.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							小学校、中学校ともにふるさと教育やキャリア教育など地域と関わる活動を充実させていることにより、6割以上の参加が維持されていると思われる。	順調 (^-^)

基本目標2 少子化対策

(b)多様なニーズに対応した教育の推進

KPI	(43)5歳児親子相談参加率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	92.3	93.2	97.3	96.6	98.2		93.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							平成25年度から事業を開始し、保護者や市内保育所・幼稚園等に、事業の趣旨や重要性が理解されてきたことが増加の要因と考える。	順調 (^-^)

基本目標3 移住・定住対策

数値目標	(44)市からの転出、転入増減数							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年	△ 292	△ 175	△ 279	△ 238	△ 285		△ 120	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>平成29年度に比べ、転出者は減ったもののそれ以上に転入者が少なかった。 (30年 転入1,135人 転出1,420人)</p>								不調 (>_<)

- (1)首都圏等からの移住の促進
 (ア)地域の情報発信と受け入れ体制の整備
 (a)移住情報の発信と収集

KPI	(45)移住相談件数 (5カ年累計)							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	—	31	85	185	281		350	件
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>移住希望者や市の相談体制、補助制度の周知が進んだことのほか、首都圏等での移住相談会に積極的に参加していることにより、相談件数が増えているものと考えられる。</p>								順調 (^~^)

- (b)移住者の受け入れ体制整備

KPI	(46)市への相談を経て移住した世帯数 (5カ年累計)							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	—	2	8	23	49		15	世帯
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>首都圏での移住相談会への積極的な参加など、移住支援を行っていることが移住希望者・市民に浸透したことにより、増えたものと考えられる。</p>								順調 (^~^)

- (イ)多様なニーズに対応した移住促進

KPI	(20)新規就農者数 (5カ年累計) (再掲)							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	—	18	36	56	65		38	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>国の「農の雇用事業」の活用や、「次世代人材投資事業」の活用等により、新規就農者数が増えたと考えられる。</p>								順調 (^~^)

基本目標3 移住・定住対策

KPI	(47)移住体験参加世帯数 (5カ年累計)							目標値	単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位	
26年度	0	—	5	10	17		20	世帯	
							推移の分析・考えられる要因	達成状況	
							移住希望者や市の相談体制、補助制度の周知が進んだことのほか、首都圏等での移住相談会に積極的に参加していることにより、増えているものと考えられる。	順調 (^~^)	

(ウ)本市出身者のUターンの促進

KPI	(48)移住相談件数のうちUターンした世帯数 (5カ年累計)							目標値	単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位	
26年度	—	1	5	11	24		12	世帯	
							推移の分析・考えられる要因	達成状況	
							首都圏での移住相談会への積極的な参加と移住支援を行っていることが移住希望者・市民に浸透したことにより、増えたものと考えられる。	順調 (^~^)	

(2)若者の定住の促進

(ア)高校卒業生等の定住及び大学卒業生等のUターンの促進

KPI	(49)市内居住による奨学金の返還支援件数							目標値	単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位	
26年度	7	12	15	19	24		45	人	
							推移の分析・考えられる要因	達成状況	
							返還対象者、減免対象者ともに増えており、制度の周知の効果が、徐々に出てきている。	横ばい (-_-)	

(3)地元への愛着をはぐくむ

(ア)子どもたちによるふるさとの発見

KPI	(42)地域の行事に参加している児童・生徒の割合 (再掲)							目標値	単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位	
26年度	61.0	65.1	69.3	62.6	65.8		70.0	%	
							推移の分析・考えられる要因	達成状況	
							小学校、中学校ともにふるさと教育やキャリア教育など地域と関わる活動を充実させていることにより、6割以上の参加が維持されていると思われる。	順調 (^~^)	

基本目標3 移住・定住対策

(イ)シティセールスによる市の魅力再発見

KPI	(50)市ホームページモバイルアクセス数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年	161,011	204,667	216,987	281,794	328,371		351,000	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							パソコンでの情報検索だけでなくいつでも調べられるスマートフォン等通信機器の増加により、アクセス数が増えた。	順調 (^~^)

(ウ)特色あるまちづくり

KPI	(51)バスケの街を他に誇れると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	38.6	39.8	36.8	39.8	38.0		50.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							「能代市バスケの街づくり推進計画」を24年度からスタートし、各種取組を進めており、対外的には「バスケが強い高校がある街」として認識されているが、市民意識の面では、能代工業高校バスケットボール部の活躍も影響しているものと考えられる。このことにより、日々の生活の中でバスケに関する情報(景観含めて)に触れる機会が減少していることが要因ではないかと思われる。	横ばい (-_-)

KPI	(52)能代バスケミュージアム来館者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	4,502	3,715	3,699	4,059	4,581		5,000	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							バスケミュージアム大開放展を実施したことにより、来場者が増えた。	順調 (^~^)

KPI	(53)のしろ銀河フェスティバル来場者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
25年度	3,321	3,527	3,076	2,394	2,806		4,000	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							平成29年度は1日開催だったが、30年度は2日開催で期間が長くなったことにより、来場者数が増えた。	横ばい (-_-)

基本目標4 新たな地域社会の形成

数値目標	(54)このまちが住みやすいと感じる市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	—	—	52.5	51.2	46.7		80.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							雇用対策や子育て支援等、住みやすさに繋がる施策を拡大してきていると同時に、住民ニーズも早いスピードで多様化していることが考えられる。	横ばい (-)

(1) 広域的な視点での地域社会の形成

(ア) 能代山本地域の連携

KPI	(55)市と近隣町が新たに行う連携事業数（5カ年累計）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	—	—	1	5	8		4	事業
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							能代山本定住自立圏において、連携した取り組みを進めている。 ・広域観光推進事業 ・大館能代空港利用促進助成金 ・新たな雇用奨励制度の創設 ・出会い創出事業のPR連携 ・福祉医療事業 ・病児保育事業 ・ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業 ・移住支援金	順調 (^~^)

(2) 地域社会の維持・活性化

(ア) 地域コミュニティの維持

(a) 自治会等への支援

KPI	(56)公民館等利用者割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	20.0	19.4	21.8	21.7	19.7		20.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							利用者数、対象人口も減少傾向にあるが、利用者の割合は目標値に対して順調に推移している。	順調 (^~^)

基本目標4 新たな地域社会の形成

KPI	(57) 自治会・町内会数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	347	346	350	349	349		345	
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							現在の自治会、町内会で状況に変化がなかった。	順調 (^~^)

KPI	(58) 自治会、町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	36.5	34.7	35.4	37.3	32.0		50.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							高齢化に伴い、ボランティア参加者が減少傾向にあることにより、割合も下がったものと考えられる。	不調 (>_<)

(b) 地域づくりの促進

KPI	(59) 市民まちづくり活動支援事業応募件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	7	9	8	8	9		10	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							継続した事業の取り組みにより、同補助制度の認知度が向上してきたと考えられる。	順調 (^~^)

(イ) 防災への対応強化

KPI	(60) 消防団員充足率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	83.9	83.8	82.7	83.2	81.9		93.8	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							人口減少、若年層の減少、被雇用者の増加といった地域社会の状況の変化により、一般団員の加入が思うように進まない状況にある。入団する団員より、定年も含め、退団する団員数のほうが多い。	不調 (>_<)

基本目標4 新たな地域社会の形成

KPI	(61) 自主防災組織数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	3	5	5	21	157		12	自治会
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							出前講座などで防災に関する情報提供を積極的に行った。	順調 (^_^)

(ウ) 地域公共交通の維持・確保

KPI	(62) 路線バス等の利用者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	330,170	326,470	299,488	290,935	257,494		330,000	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							人口減少や少子高齢化、自動車の普及により減少傾向が続いている。	不調 (>_<)

KPI	(63) 巡回バスの1便平均利用者数 (市街地巡回バス『はななす号』及び向能代・落合地区巡回バス『しのめ号』)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	10	10	11	12	11		14	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							運行開始から数年が経過し、利用の定着が図られたものと考えられる。冬期間等の天候により、利用者数が増減すると考えられ、30年度は積雪が少なく、利用者が減少した。	横ばい (-_-)

(エ) 若者、女性、高齢者の活躍支援

(a) 若者の活躍支援

KPI	(64) 市民活動支援センター登録団体数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	56	63	70	74	83		70	団体
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							市民活動支援センターと市民活動団体との連携が図られてきているものと考えられる。	順調 (^_^)

基本目標4 新たな地域社会の形成

(b) 女性が活躍できる環境づくり

KPI	(65)性別・国籍などに関わらず、一人ひとりの個性や能力を発揮できる地域になっていると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	8.8	10.9	9.4	10.4	8.7		15.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							年度によって若干の変動があり、男女共同参画都市宣言や関連事業、日本語ふれあい交流支援事業、人権擁護活動促進事業等を行っているが、まだ十分浸透しきれていないと考えられる。	不調 (><)

KPI	(66)男女イキイキ職場宣言事業所数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	13	13	13	14	16		20	事業所
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							登録方法が簡易であることに加え、企業のイメージアップにも繋がる一方で、その条件としては女性の登用やワークライフバランスの環境づくり等で、意識改革や制度改革を伴うもので、即時の対応が難しい一面もあることから、微増にとどまっている。	横ばい (-)

(c) 健康で元気な高齢者の活躍促進

KPI	(67)シルバー人材センター会員数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	335	310	286	303	321		400	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							役職員による市内全戸への会員募集のチラシ配布・市内一部地域へのダイレクトメールの送付等により、会員数が増えたものと考えられる。	横ばい (-)

KPI	(68)高齢者の生きがいと健康づくり事業参加者							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	3,889	4,434	5,115	4,997	5,101		5,000	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							事業を見直し、平成27年度より保坂福祉学園を開講し、趣味の講座を拡充したことが増加の要因と思われる。	順調 (^~^)

基本目標4 新たな地域社会の形成

(3)安全・安心な暮らしを守る環境づくり

(ア)既存インフラのマネジメント強化

KPI	(69)公共施設等総合管理計画の策定							達成状況
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	—	—	100	100	100		100	%
								<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>平成29年3月に策定済。(計画期間は令和28年度までの30年間)</p>
								順調 (^-^)

KPI	(70)橋梁長寿命化修繕計画による修繕橋梁数（5カ年累計）							達成状況
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	—	2	7	13	18		22	橋
								<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>計画と同数で順調に推移している。(30年度は、柏子所橋、轄ノ目橋、羽立橋、外割田2号線、源助田橋)</p>
								順調 (^-^)